

平成21年度 入札監視委員会審議概要

中国四国防衛局

開催日及び場所	平成21年9月14日(月) 中国四国防衛局 会議室
委員	中川 郁夫 (委員長/税理士) 那須野 徳次郎 (委員長代理/弁護士) 神野 智文 (財団法人客員研究員) 森嶋 久雄 (不動産鑑定士) 藤井 堅 (大学院教授)

I 地方防衛局等が発注する建設工事等に関する審議

審議対象期間	平成21年4月1日 ~ 平成21年6月30日		
審議対象件数	2 件		
1. 入札状況について(参加資格の設定、指名及び落札決定の経緯等について)			
抽出件数	2 件	(審議概要) 「抽出案件」 ・建設工事	
建設工事	一般競争(政府調達協定対象)	0 件	
	一般競争(政府調達協定対象外)	2 件	「報告事項」 ・低入札事案について ・指名停止等の措置状況について
	公募型指名競争	0 件	
	指名競争	0 件	
	随意契約	0 件	
建設コンサルタント業務等	0 件		
	意見・質問	回答	
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	<p>【抽出理由】 ・審議対象期間における建設工事等の契約は2件のみだったので、全てを審議事案とした。</p> <p>【抽出案件】 ○建設工事 【一般競争入札】 《岩国飛行場(21)滑走路移設保管庫等建築工事》 落札率：80.5% 応札者：12者</p> <p>・低入札に係る調査基準価格は、予定価格の何%ぐらいになるのか。</p>	<p>・工事の調査基準価格は、予定価格の70~90%の範囲内で設定することになっている。</p> <p>算出方法は、予定価格算出の基礎となった各経費(直接工事費、共通仮設費、現場管理費、一般管理費)ごとに決まっている率を乗じて、それぞれを合計したものであるため各事案ごとに変動する。</p>	

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>・各経費ごとに算出した価格の内、1項目でも基準を下回れば低入札となるのか。</p> <p>・低入札価格調査結果については公表しているのか。</p> <p>・調査は何課が実施しているのか。</p> <p>【一般競争入札】 《岩国飛行場(21)滑走路移設保管庫等電気その他工事》 落札率：94.4% 応札者：6者</p> <p>・総合評価方式の評価点と価格はどちらが優先するのか。</p> <p>・何を評価しているのか。</p> <p>・総合評価方式について業者は承知しているのか。</p> <p>・評価点の点数は、業者にはわかるものなのか。</p>	<p>・低入札にはならない。 各経費ごとに算出した価格の総額により判定する。 また、1億円以上の工事については、調査基準価格を下回り、かつ、各経費の中で1項目でも別に設定した基準額を下回れば、特別に調査を行うことになる。</p> <p>・審議資料に添付している低入札価格調査結果調書を当局ホームページに掲載し、情報公開室でも閲覧に供している。</p> <p>・主は契約課であり、技術的なことは担当課が行う。 業者から提出される低入札価格調査に係る資料のヒアリングは両課で実施している。</p> <p>・価格だけでなく、品質確保のため業者の技術力等も重視する必要があるため総合評価方式の入札を実施している。</p> <p>・業者の施工能力、配置予定技術者の能力等を点数化して評価し、これを基に加算点を与えている。</p> <p>・入札公告及び入札説明書に評価項目、評価方法を記載しており、業者はこれに基づいて資料を提出し、当方で公平に審査を実施している。</p> <p>・入札説明書に評価の配点方法を記載しており、評価点は公表していないが、評価点を基に算出した加算点については契約後に公表している。 (注：本年7月以降に入札・契約手続きを行った事案については、評価点も契約後に公表することになった。)</p>

		意見・質問	回答
○委員からの 意見・質問 ○それに対する 回答等	【報告事項】		
	○低入札事案について（1件） なし	なし	なし
	○不調事案について（0件） なし	なし	なし
	○指名停止等の措置状況について（1件） なし	なし	なし
○委員会による 意見の具申 又は 勧告の内容	なし		
2. 談合疑義案件の処理状況について			
談合疑義件数		0件	(審議概要)
工 事	談合情報	0件	なし
	点検結果疑義	0件	
業 務	談合情報	0件	
	点検結果疑義	0件	
		意見・質問	回答
○委員からの 意見・質問 ○それに対する 回答等	なし		なし
	なし		
○委員会による 意見の具申 又は 勧告の内容	なし		

3. 入札結果の事後的・分析結果について（公正入札調査会議への報告内容の確認等）					
審議概要		なし			
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等		意見・質問		回答	
		なし		なし	
○委員会による意見の具申又は勧告の内容		なし			
4. 再苦情処理（再説明請求回数）					
再苦情申立件数（再説明請求件数）		総件数	0 件	(備考) なし	
建設工事	一般競争（政府調達協定対象外）		0 件		
	公募型指名競争		0 件		
	指名競争		0 件		
	随意契約		0 件		
建設コンサルタント業務等			0 件		
再苦情申立概要（再説明請求概要）		申立日	件名	契約方式	内容等
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等		意見・質問		回答	
		なし		なし	
○委員会による意見の具申又は勧告の内容		なし			

II 契約実施機関が締結する契約（地方防衛局等が発注する建設工事等を除く。）に関する審議
 契約実施機関：中国四国防衛局及び同局管内の各防衛事務所

審議対象期間	平成20年4月1日～平成21年3月31日	
審議対象件数	815件	
1. 入札状況について（入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について）		
抽出件数	8件	(審議概要) 「抽出案件」 ・役務契約 ・売買契約 ・借上契約
一般競争	3件	
指名競争	1件	
随意契約	4件	
	意見・質問	回答
○委員からの 意見・質問 ○それに対する 回答等	<p>【抽出理由】 ・契約額の大きいもの、問題となるようなもの及び特に変わったものはなかったが、入札・契約方式等について確認したいものを抽出した。</p> <p>【抽出案件】 【一般競争入札】 《平成20年度公用車の交換購入》 落札率：99.0% 応札者：1者</p> <p>・1者のみ(日産)の応札だが、車を指定して他者を排除したようなことはないのか。</p> <p>・特定のメーカー又は特定の車種を指定しているのか。</p> <p>【一般競争入札】 《電子複写機借上(H20)》 落札率：0.00% 応札者：3者</p> <p>・1円入札、1円での契約ということは、リース料を安くして消耗品で回収しようとしているのではないか。</p> <p>・建設工事では低入札となるように思われるが、落札後、何等かの調査はしているのか。</p>	<p>・一般競争入札（総合評価方式）による公告を行っており、特に官側で車種を指定するようなことは行っていない。</p> <p>・仕様書では5名乗り、2,000cc等の仕様を定めているが、他のメーカーも同様のものが販売されており、参加は可能である。</p> <p>・消耗品等を含む保守契約は、別途一般競争を行っており、他者と契約している。</p> <p>・落札者に対し、適切な履行が可能であるか聞き取りを行った。 また、設置後1年を経過しているが、特に問題は起こっていない。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>・本契約及び保守契約と過去の同様の契約の年間使用額との比較表を作成した方が良いと考える。</p> <p>【一般競争入札】 《平成20年度陸上自衛隊三軒屋駐屯地保安用地立木調査業務》 落札率：44.2% 応札者：8者</p> <p>・立木調査とは何か。</p> <p>・保安用地とは何か。</p> <p>・全ての立木を調査するのか。</p> <p>【指名競争入札】 《平成20年度駐留軍等労働者に対する給与金支払事務（岩国地区）の銀行委託》 落札率：96.3% 応札者：2者</p> <p>・何を行う契約なのか。</p> <p>・データはどこが作成するのか。</p> <p>・銀行はどこでも対応できるのか。</p> <p>・請負金額は振込手数料と見てよいか。</p> <p>・国の振込は無料ではないのか。</p> <p>・地元銀行が有利なのか。</p> <p>・岩国地区以外で同様の契約があるのか。</p>	<p>・作成の上、比較してみます。</p> <p>・国有財産の立木の数量を特定するための調査である。</p> <p>・弾薬設備があることに伴い、その設備から一定の保安距離を保つためのものである。</p> <p>・対象区域は全保安用地だが、基準面積を設けて算定している。</p> <p>・岩国基地の日本人従業員約1,200人に対する、給与等の振込委託である。</p> <p>・国が作成し、銀行へ提供する。</p> <p>・データはフロッピーディスクの持ち込みなので、どこでも対応できると考える。</p> <p>・振込手数料に当たると考える。</p> <p>・特例法に基づく、本件委託事務は、有料である。</p> <p>・従業員の振込口座を多く持っている銀行が有利ではないかと思料する。 また、小切手持参のため安全性を考慮して岩国防衛事務所近辺の銀行を入札参加条件とした。</p> <p>・呉市等に点在する米軍施設に約380名の従業員がおり、別途同様の契約をしている。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>・その契約方式は。</p> <p>・岩国地区の契約は、振込手数料にしては少額に思えるが、何が銀行にメリットはあるのか。</p> <p>【随意契約】 《陸上自衛隊高知演習場(仮称)用地の取得に係る不動産鑑定評価》</p> <p>《陸上自衛隊高知演習場(仮称)用地の取得に係る不動産鑑定評価》</p> <p>・鑑定評価において、特定の土地を鑑定した後、当該結果を基に比準し、他の土地の評価額を求めた場合の報告方法はどうか。</p> <p>・2者鑑定を実施した根拠は何か。</p> <p>・2者鑑定にて評価しているが、評定価格の決定はどのようにしたのか。</p> <p>【随意契約】 《平成20年度美保飛行場周辺移転措置に係る不動産鑑定評価》</p> <p>・不動産鑑定評価を随意契約で行うと会計法の規定で決まっているのか。</p>	<p>・予定価格が少額なため、会計法に基づき、随意契約としている。</p> <p>・取扱額が、月額約4億円あり、請負額よりも、取扱金額としての実績にメリットがあるものと思料する。</p> <p>・意見書にて報告を受けるものである。</p> <p>・当局としては、局長が必要と認める場合は2者による鑑定を実施することとしており、本件は計画地面積が広大であること、新規事案であること等を理由に、2者による鑑定が妥当と判断したものである。</p> <p>・2者から提出された報告書における評価額の平均をもって、評定価格としている。</p> <p>・会計法第29条の3第4項により契約の性質または目的が競争を許さない場合は随意契約によるとされている。 中国地区用地対策連絡会の定める報酬基準により、基本報酬額は決定しているので、競争の余地がなく、随意契約とした。</p>

	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	・2者鑑定によらず1者鑑定とした理由は何か。 【随意契約】 《書類保管契約》 ・本契約は随意契約で行っているが、昨年度も同者と契約しているのか。	・当局としては、局長が必要と認める場合は複数の鑑定評価等を徴することができるかとされているが、本件は開始から30年以上継続している事案であって、個別的特性の強いものとはいえないので、1者による鑑定が妥当と判断したものである。 ・昨年度も同者と契約しており、年度更新契約として実施した。 なお、過去には公募を実施したことがあるが、応募者がなく、既契約者である同者と随意契約を行った。
○委員会による意見の具申 又は 勧告の内容	なし	
2. 談合情報案件の処理状況について		
談合情報件数	0 件	(審議概要) なし
	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	なし	なし
○委員会による意見の具申 又は 勧告の内容	なし	

3. 再苦情処理（再説明請求回答）				
再苦情申立件数 （再説明請求件数）	総件数	0 件	（備考） なし	
一 般 競 争		0 件		
指 名 競 争		0 件		
随 意 契 約		0 件		
再苦情申立概要 （再説明請求概要）	申立日	件 名	契約方式	内容等
○委員からの 意見・質問 ○それに対する 回答等	意 見 ・ 質 問		回 答	
	なし		なし	
○委員会による 意見の具申 又は 勧告の内容	なし			